

# 令和5年度 自己評価結果公表シート

作成 将軍野幼稚園

## 1、本園の教育目標

元気に生き生きと活動し情操豊かで思いやりのある子ども

## 2、本年度、重点的に取り組む目標や計画

- ・ 幼児の発達段階や興味関心に合わせた遊びの環境を設定し、遊びがより豊かになるよう再構成、発展させていく。
- ・ それぞれが自分の考えや意見を出し合い、個性や特技を活かしてティーム保育を展開する。

## 3、評価項目の達成および取り組み状況

	評価項目	結果	取組状況の反省
学園の重点項目	教育目標の具現化に向け、学園独自の研究(運動・音楽リズム・劇・絵画造形)を総合的に取り入れ、保育を計画・実践している。	B	運動・絵画・表現において様々な取り組みをし、子どもたちも興味を持って参加した。しかし学年ごとにバラつきもあったので、学年枠に捉われずオープン保育を活用し、全体で楽しめる時間も必要だった。一斉に行う活動だけでなく、日々子どもの興味関心からヒントをもらい、バランスよく取り入れていくことも心掛けていきたい。
自園の重点項目	指導計画に基づいて幼児が主体的に関わりたくなるような環境構成をし、幼児の活動がより豊かになるよう環境を再構成しながら活動を展開する。	B	教師一人一人が意識して、子どもたちが興味持つ環境構成や活動内容を考える努力はしていた。子どもの声を拾いながら一緒に創り上げたりと再構成にはまだ課題も残るが、教師自身試したり、次につながるよう考えることができた。
	幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年をこえてティーム保育を展開している。	B	全員揃って打ち合わせをしたり、保育の振り返りの時間が思うようにとれなかった。子どもの姿や遊びの内容、悩んでいることなどみんなで出し合いながら共通理解していく時間を今後も意識してとれるようにしたい。

#### 4、学校評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
B	<p>感染症や体調不良の為、職員が足りないことも多かったが、その中でもみんなで声を掛け合い、しっかりと子どもたちを受け止めながら、全員で保育にあたることができた。その点ではチームワーク良く一人一人意識しながら業務にあたった。そしてオープン保育の環境構成など、異年齢を考慮し、時には再構成しながら子どもたちと一緒に展開することができたので、今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>改善点や課題を職員で共有・理解できるように、話し合いの場を多く設けたり、一人ひとりのスキルを磨きながら、集団としても成長できるようにしていきたい。</p>

【A】…十分達成されている。【B】…達成されている。【C】…取り組まれているが、成果が十分ではない。

【D】…取り組みが不十分である。

#### 5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>幼児の発達段階や興味関心に合わせた遊びの環境を設定し、遊びがより豊かになるよう再構成、発展させていく。</p>	<p>遊びや活動のねらい、重視するポイントを明確にし、遊びが単発的にならないよう子どものアイデアを取り入れながら一緒に遊びを展開していけるようにする。お互いの保育を見合う中で、先生同士もそれぞれの考えを出し合いながら遊びを発展させていく。</p>
<p>それぞれが自分の考えや意見を出し合い、個性や特技を活かしてチーム保育を展開する。</p>	<p>活動や子どもの対応について、周りと相談することでお互いのやり方や意見を参考にし、よりよい保育の形を考えていく。また、改善点や課題を職員で共有・共通理解できるように話し合いの場を設け、一人ひとりのスキルアップを図りたい。</p>